

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

海軍大臣官房

昭和八年五月二十三日(火)

○ 令 達

官房第二三二九號

本年特別大演習中之ニ參加スル艦船ノ乗員又ハ特設部隊ニ勤務スル者ニハ左記ニ依リ試験防著被服物品ヲ貸與シ又ハ糧食品ノ増給、換給若ハ試給ヲ爲スコトヲ得

昭和八年五月二十三日

海 軍 大 臣

記

試験防著被服物品

- 一、試験品ノ品質、製式、貸與數及貸與區分ハ別表第一ニ依ル
 - 二、本試験ハ第一艦隊並ニ第二艦隊ニ於テ之ヲ實施スルモノトス
 - 三、試験ノ實施要領ハ聯合艦隊司令部ニ於テ之ヲ定ムルモノトス
- 糧 食 品
- 一、糧食品ノ増給及試給ハ別表第二ニ依ル

海軍公報(部内限)號外

二、糧食品ノ換給ハ別表第三ニ依ル
 本號ニ依リ試験又ハ給與ヲ行ヒタル艦船部隊ノ所轄長ハ其ノ成績並ニ所見ヲ昭和八年十月十五日迄ニ海軍省
 軍需局長ニ通報スルト共ニ寫一通ヲ各海軍軍需部及舞鶴要港部軍需部ニ送付スルモノトス

(別表第一) 試験貸與防著被服物品表

品名		種別	品質	製式	貸與數	貸與區分
准士官以上 作業服	1	1	褐青色交織布製(裏白、裏黒ノ二種)、上衣ハ襟部ヲ折り脇下ニ通氣孔ヲ設ク其ノ他ハ第二種軍裝ニ同ジ	茶褐色麻織製、①ニ同ジ但シ上衣ハ半袖トス	七五	准士官以上ニ 貸與ス
					七五	
					七五	
					七五	
					七五	
准士官以上 作業帽	1	1	ヘルメット型、褐青色ノ覆布ヲ附ス	同	七五	同 右
					七五	
					七五	
					七五	
					七五	
下士官兵 作業服	1	1	上衣ハ霜降フヲネル製兵夏襦袢ニ準ジ左肩ニテ釦止トシ脇下ニ通氣孔ヲ設ク、袴ハ事業服袴古品ヲ半袴腰部ビジヨウ締ニ改造シタルモノ	上衣ハ霜降フヲネル製下士官夏襦袢ニ準ジ半袖、襟ナシ、前割トシ脇下ニ通氣孔ヲ設ク、袴ハ①ニ同ジ	二五〇	下士官及兵ニ 貸與ス
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
下士官兵 作業服	2	2	上衣ハ晒薄綾木綿製、其ノ他ハ①ニ同ジ	同	二五〇	下士官及兵ニ 貸與ス
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
下士官兵 作業服	3	3	上衣ハ晒薄綾木綿製、其ノ他ハ①ニ同ジ	同	二五〇	下士官及兵ニ 貸與ス
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
下士官兵 作業服	4	4	上衣ハ晒薄綾木綿製、其ノ他ハ②ニ同ジ	同	二五〇	下士官及兵ニ 貸與ス
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
下士官兵 作業服	5	5	上衣ハ鼠色薄綾木綿製、其ノ他ハ①ニ同ジ	同	二五〇	下士官及兵ニ 貸與ス
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	
					二五〇	

機關科 作業服		烹炊作業服	潜水艦 防暑作業帽		潜水艦 作業服		下士官兵 着色作業服		下士官兵 防暑作業帽					
2	1	1	2	1	2	1	2	1	4	3	2	1	6	
鼠色薄綾木綿製、其ノ他ハ①ニ同ジ		潜水艦作業服①ニ同ジ	同 右 鼠色布製		上衣ハ濃鼠色木綿製ランニング型襦袢トシ袴ハ上衣ト同色ニシテ製式①ニ同ジ	上衣ハ晒木綿縮製ランニング型襦袢トシ袴ハ事業服袴古品ヲ半袴腰部ビジョウ縮ニ改造シタルモノ	褐青色交織布製(裏黒)、上衣ハ開キ襟、半袖トシ脇下ニ通氣孔ヲ設ケ、袴ノ製式ハ①ニ同ジ	淡褐青色木綿製、上衣ハ脇下ニ通氣孔ヲ設ケ袴ハ半袴、腰部ビジョウ縮トスルノ外事業服ニ同ジ	同 右 茶褐色布製		同 右 濃鼠色布製		ヘルメット型、白色ノ覆布ヲ附ス	上衣ハ鼠色薄綾木綿製、其ノ他ハ②ニ同ジ
五〇〇	五〇〇 <small>伊</small>	二〇〇 <small>組</small>	二五〇	二五〇 <small>伊</small>	二五〇	二五〇 <small>組</small>	二五〇	二五〇 <small>組</small>	三〇〇	三〇〇	四〇〇	一五〇 <small>兩</small>	二五〇 <small>組</small>	
機關科下士官及兵ニ貸與ス		烹炊作業ニ從下士官主計科及兵ニ貸與ス	同 右		潜水艦乗員タル下士官及兵ニ貸與ス		同 右		同 右					

三

1044 0295

艦内靴		備考	
1	2	1	2
黒色、整備靴ニ準シ革底トス	茶褐色、其ノ他ハ①ニ同ジ	一、木表ノ被服物品ハ横須賀海軍軍需部ニ於テ準備供給ヲナスモノトス	二五〇 _租
二五〇 _租	紺足袋ノ底部ニ黒色ゴムヲ張りタルモノ		同
			右
			下士官及兵ニ貸與ス

(別表第二)	
品名	記
梅干	日額一五瓦以内増給
酢	句額〇、〇五立以内増給
白砂糖(黄雙)	白砂糖句額五〇瓦以内又ハ黄雙句額六〇瓦以内ヲ増給但シ潜水艦航海糧食ノ給與ヲ受クル場合ヲ除ク
生果物	一〇〇瓦以内ヲ一旬二回給與但シ潜水艦航海糧食ノ給與ヲ受クル場合ヲ除ク
備考	北緯三十度以南ノ海面ニ在ル艦船乗員又ハ同緯度以南ノ地ニ特設スル部隊勤務ノ者ニシテ糧食ノ給與ヲ受クル場合ニ給スルコトヲ得

(別表第三)	
糧食品換給表	

1045 0296

規程品種	量額	換給品種	量額	記
生野菜	五二〇 ^瓦	豆腐ノ素	一七〇 ^瓦	各艦船三食分ノ割ニテ各海軍軍需部ヨリ供給ス 海軍給與令施行細則第二十一表ノ規定ニ拘ハラズ驅逐艦及潜水艦乗員ニ換給ス
味噌	五五	蝦味噌汁罐詰	九〇	
白餅	四〇〇	餅ノ素	二〇〇	
鶏卵	一一〇	粉末鶏卵	四〇	
醬油	〇、〇七五 ^立	濃厚醬油	^{濃度ノ比ニ依ル}	
備考	北緯三十度以南ノ海面ニ在ル艦船乗員又ハ同緯度以南ノ地ニ特設スル部隊ニ勤務スル者ニ糧食ヲ給スル場合換給スルモノトス			

1046 0297

海軍公報

(部内限) 第五百三十七號

海軍大臣官房

昭和八年五月二十四日(水)

○令 達

官房第二三〇三號

昭和八年特別大演習用艦營需品及燃料ノ取扱方左ノ通定ム

昭和八年五月二十日

海軍大臣

- 一 昭和八年特別大演習用(以下演習用ト稱ス)艦營需品及燃料ノ取扱方ハ艦營需品及燃料ニ關スル規程ニ依ルノ外左ノ各號ニ依ル
- 二 演習用艦營需品及燃料ハ別ニ之ヲ告達ス
- 三 演習ノ爲新ニ艦隊、艦隊附屬部隊及他鎮守府防備部隊ニ配屬セル艦船ノ回航用(集合用)、豫備訓練用燃料豫算及行動用消耗品豫算ハ新所屬長官ニ、平常用差増ノ燃料豫算統監部附屬艦船用燃料豫算及行動用消耗品豫算ハ舊所屬長官ニ告達ス
- 四 演習中増設セラレタル司令部及特設部隊ニ要スル

- 五 艦營需品ハ定額表外トシ備品ハ貸與、一般用消耗品ハ演習ノ爲特ニ告達セラレタル豫算ノ範圍内ニテ所要ノ數額ヲ供給又ハ直買スベシ
- 六 中央審判部首席審判官ハ演習中必要ニ應ジ豫算ノ範圍内ニテ演習用燃料及行動用消耗品豫算ヲ増減スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ海軍省軍需局長ニ通知スベシ
- 七 演習用豫算ハ演習ニ關スル任務終了ノ日ヲ以テ打切整理スベシ但シ第一二號ニ依ル補填ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 八 演習用燃料ハ燃料經理規程別表燃料使用區分ニ依ラズ演習用燃料告達豫算ノ範圍内ニ於テ所屬長官適宜之ヲ使用セシムルコトヲ得
- 九 所屬長官ハ各種燃料告達額中重油、煉炭又ハ塊炭ノ二割以内ヲ燃料經理規程別表燃料相互換算係數ニ依リ他種ノ燃料ニ換算告知スルコトヲ得但シ此ノ場合ハ其ノ旨中央審判部首席審判官及海軍省軍

海軍公報(部内限) 第五百三十七號

昭和八年五月二十四日

二三一

1047

0298

- 需局長ニ通知スベシ
- 九 所屬長官ハ演習用燃料告達豫算ノ一部ヲ他ノ所屬長官ニ分割スルコトヲ得
- 〇 所屬長官ハ特務艇ニ要スル演習用燃料及行動用消耗品豫算ヲ特務艇長ニ告知スルコトヲ得
- 二 演習用燃料及行動用消耗品ハ經常用ノモノト區分シテ整理スベシ
- 三 所屬長官ハ已ムヲ得ザル事情ニ依リ演習用燃料及行動用消耗品ノ一部又ハ全額ヲ搭載シ得ザル艦船ニ對シテハ經常用在庫品ヲ使用セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ爾後成ル可ク速ニ演習用豫算ヲ以テ之ガ補填ヲ爲サシムベシ
- 三 所屬長官ハ演習終了後演習用燃料及行動用消耗品仲用殘額ヲ有スル艦船ニ對シテハ經常用告達豫算内ニ於テ之ヲ經常用ニ振替使用セシムルコトヲ得但シ役務ノ關係上昭和八年度内ニ使用ノ見込ナキモノニ付テハ之ヲ還納セシムベシ
- 四 所屬長官前號ニ依リ演習用燃料及行動用消耗品使用殘額ヲ經常用ニ振替使用セシメタルトキハ之ヲ別紙（様式三）ニ依リ海軍省需局長ニ通報スベシ
- 兵備品會計官吏ハ演習終了後演習用トシテ出納セ

ル艦營需品ノ品種、數量、金額及燃料ノ品種、數量及運搬費ヲ別紙（様式一、二）ニ依リ演習終了後速ニ海軍省需局長ニ通報スベシ

二六 各海軍軍需部長及舞鶴要港部軍需部長ハ演習終了後二箇月以内ニ演習用燃料並ニ行動用消耗品豫算決算表（様式四）艦營需品供給並ニ直買豫算決算表、貸與品損耗復舊表（様式五）ヲ調製シ海軍大臣ニ報告スベシ

（様式一）

番號

昭和 年 月 日

（出納命令官經由）兵備品會計官吏

海軍省需局長宛

昭和八年特別大演習用艦營需品備品（一般用消耗品）（行動用消耗品）供給（貸與）

（補給）（還納）通報

艦船部 隊名	月日	品名	數稱	數量	單價	代價	運搬費	記事

備考

- 一 供給通報ニハ特務艦船等ニ搭載セル補給用艦管需品中ヨリ供給セシ數量ニ對シ其ノ補給艦船名ヲ記事欄ニ記入スルモノトス
- 二 補給通報ニハ補給用トシテ特務艦船等ニ搭載セシモノニ就キ記入スルモノトス
- 三 還納通報ニハ補給用ニ殘餘ヲ生ジ庫納シタルモノヲモ併セテ記入スベシ但シ此ノ場合記事欄ニ補給用殘ト記入シ演習用殘額トノ區別ヲ明ニスベシ
- 四 通報ハ備品、一般用消耗品、行動用消耗品ニ區別シ尙供給、貸與、補給、還納ノ各別ニ作製スベシ
- 五 兵備品會計規程第二十三條ニ依リ他艦船部隊ヨリ供給ヲ受ケタルモノニ關シテハ供給通報記事欄中ニ供給艦船部隊名ヲ又還納通報記事欄中ニ被供給艦船部隊名ヲ記入スベシ

(様式二)

番號

昭和 年 月 日

(出納命令官經由) 兵備品會計官吏

海軍省軍需局長宛

海軍公報(部内限) 第千五百三十七號

昭和八年五月二十四日

二三三

昭和八年特別大演習用行動用(平常用) 燃料供給(補給)(還納)通報

艦船部隊名	月日	品 種	數稱數量	運搬費	記 事

備考

- 一 供給通報ニハ特務艦船等ニ搭載セル補給用燃料中ヨリ供給セシ數量ニ對シ其ノ補給艦船名ヲ記事欄ニ記入スルモノトス
- 二 補給通報ニハ補給用トシテ特務艦船等ニ搭載セシモノニ就キ記入スルモノトス
- 三 還納通報ニハ補給用ニ殘餘ヲ生ジ庫納シタルモノヲモ併セテ記入スベシ但シ此ノ場合記事欄ニ補給用殘ト記入シ演習用使用殘額トノ區別ヲ明カニスベシ
- 四 通報ハ行動用、平常用ニ區別シ尙供給、補給、還納ノ各別ニ作製スベシ
- 五 兵備品會計規程第二十三條ニ依リ他艦船部隊ヨリ

供給ヲ受ケタルモノニ關シテハ供給通報記事欄中
ニ供給艦船部隊名ヲ又還納通報記事欄中ニハ被供
給艦船部隊名ヲ記入スベシ

(様式三)

昭和八年特別大演習用艦營需品燃料殘額處理通報
(行動用)(平常用)(艦營需品)(石炭)(重
油)(航空機用燃料)(其ノ他ノ輕質油)

艦船部隊名	所屬	在庫	殘額	處理概要
品種	數量			
(陸奥) 青軍第一艦隊	重油	六八五	經常用行動豫算ヲ以テ繰替	
(金剛) 同右	重油	一八五	内一〇〇噸ハ經常豫算ヲ以テ繰替 内八五噸ハ吳軍需部へ還納	

備考

- 燃料ハ行動用、平常用ニ區別シ更ニ石炭、重油、航空機用燃料及其ノ他ノ輕質油毎ニ別紙トスベシ
- 艦營需品ハ行動用消耗品ニ就テノミ通報スベシ

(様式四)

昭和八年特別大演習用燃料(行動用消耗品)
豫算決算表
石炭(重油)(輕質油)(行動用消耗品)

所屬別	艦船部隊名	告知額合計	供給額合計		豫算殘額	摘要
			數額	代價		

(様式五)

昭和八年特別大演習用艦營需品貸與品損耗復舊表

(何長主管)

艦船部隊名	品名	數稱	數量	金額	記事

備考
記事欄ニハ損耗理由ヲ記載スベシ

○通牒

官房第二三五三號

昭和八年五月二十四日

海軍省 副官

各鎮守府
各要港部
各艦隊
參謀長殿

宣傳普及ニ關シ海軍協會及有終會利用ノ件申進

今回宣傳普及ノ爲從來ニ比シ一層海軍協會及有終會ヲ利用スルコトトセラレタルニ付テハ海軍省ハ左記要領ニ依リ右兩會ト接觸スルコトト可致ニ付右兩會ノ上可然兩會支部ト聯絡セラレ度

記

一、海軍協會利用要領

(イ)方針

- (一) 海軍協會ノ事業タル民衆ニ對スル海軍思想普及運動ヲ援助シ事業ノ擴張及充實ニ資ス
 - (二) 海軍協會ノ要望ニ應ジテ講演官ヲ派遣シ又ハ必要ナル資料ヲ提供ス
 - (三) 海軍協會機關雜誌(中學程度ノ民衆ニ對スルモノ)刊行ニ必要ナル資料ヲ提供ス
 - (四) 海軍協會本部トハ直接同支部トハ鎮守府又ハ要港部ヲ經テ間接ニ聯絡ス
但シ陸軍、外務、内務、文部、逓信ノ諸省トハ充分聯繫ヲ保持シ協會ノ活動ヲ容易ナラシムル如クス
 - (五) 海軍協會及有終會ノ兩者ヲシテ極メテ密接ナル聯繫ヲ保タシムル如ク指導ス
但シ海軍協會ノ幹部ニハ本部支部共有終會員ノ成ルベク多數ヲ採用スル如ク指導ス
- (ロ) 指導聯絡ノ體系
別圖Aノ如シ
- 二、有終會利用要領

海軍公報(部内限) 第千五百三十七號

昭和八年五月二十四日

二三五

1051 0302

(イ) 方針

(一) 有終會ノ事業タル雜誌「有終」ノ發行及離現役海軍士官ノ指導教育ヲ援助シ事業ノ擴張及充實ニ資ス

(二) 「有終」ノ刊行ニ必要ナル資料ヲ提供ス

(三) 有終會本部トハ直接支部トハ鎮守府又ハ要港部ヲ經テ間接ニ聯繫ヲ保持ス

但シ陸軍省及在郷軍人會本部ト充分ナル聯繫ヲ保持シ主トシテ有終會支部ト地方陸軍官憲及在郷軍人會トノ協調ヲ密ナラシムルコトニ努ム

(四) 有終會及海軍協會ノ兩者ヲシテ極メテ密接ナル聯繫ヲ保タシムル如ク指導ス

但シ有終會ヲシテ會員ヲ隨時海軍協會又ハ其ノ他ノ求メニ應ジ其ノ主催スル講演會ニ講演者トシテ派遣シ得シムル如クスルト共ニ海軍協會本部ノ中堅幹部タリ得ルガ如ク教育セシムルヲ主眼トス

(ロ) 指導聯絡ノ體系
別圖Bノ如シ

(別圖一葉添)

官房第二三五四號

昭和八年五月二十四日

海軍省 副官

各廳長 殿

揚子江流域方面ヘノ郵便物發送取扱ニ
關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ四月十二日附海軍公報(部内限)ヲ以テ通牒致置候處今尙軍事郵便トナサザル爲日華郵便トシテ中國郵政局ノ手ニ依リ取扱ハレ之ガ爲開封、檢閱、配達遲延又ハ不達等ノ事故絶エザルヤニ見受ケラレ機密保持上モ遺憾ノ次第二有之候ニ付テハ同通牒ノ趣旨ヲ充分徹底セシムル様御取計相成度

(二月二十一日發ニ四月十二日海軍公報参照)

軍需燃第九五號

昭和八年五月二十日

海軍省 軍需局

關係各廳御申

昭和八年特別大演習用艦營需品及燃料

取扱方解説ノ件通知

本二十日官房第二三〇三號ヲ以テ昭和八年特別大演習

用艦營需品及燃料取扱方通達相成候處右ニ對スル解説
左記ノ通爲參考

第二號解説

記

イ、艦營需品（行動用消耗品ヲ除ク）ハ演習ノ爲増
設セラレタル司令部及特設艦船部隊、第二豫備
ヨリ演習ニ參加スル艦船、演習中移動無線電信
機等ヲ臨時裝備スル艦船部隊ニ對シ告達ス
ロ、行動用燃料及行動用消耗品ニ對スル豫算ハ演習
ニ參加スル艦船、航空機ノ全部ニ告達ス
ハ、平常用燃料ニ對スル豫算ハ第二豫備ヨリ演習ニ
參加スル艦船ノ差増及演習中海軍艦船ニ臨時搭
載ノ内火艇及移動無線電信機等ヲ臨時裝備スル
艦船部隊ニ對シ告達ス

第五號解説

中央審判部首席審判官ノ通知スル豫算ノ増減ハ告達
豫算簿ニ登記ヲ要ス

第六號解説

演習用豫算ハ聯合艦隊所屬（演習ノ爲配屬セラレタ
ルモノヲ含マズ）ノ艦船ニ對シテハ演習終結ノ日、
右以外ノ艦船ニシテ演習ニ參加セシモノニ對シテハ

演習終結後所屬軍港、要港歸著ノ日ヲ以テ打切整理
ヲナスモノトス
但シ演習中經常用ヲ繰替使用ノ爲演習用豫算ヲ以テ
之ガ補填ノ必要アルモノハ此ノ限ニアラズ

第七號解説

例ヘバ甲艦ノ行動用燃料ノ使用區分ハ塊炭（煉炭）
トアルモ所屬長官ガ同艦演習任務行動ノ關係上及演
習用豫算ノ狀況等ニ依リ煉炭（塊炭）ヲ使用セシム
ル必要アリト認ムル場合ハ告達豫算ノ範圍内ニ於テ
適宜使用セシムルコトヲ得ルモノトス

第八號解説

所屬長官ハ重油、煉炭又ハ塊炭各告達額ノ二割以内
適宜ノ數量ヲ告達豫算簿ニ於テ減額シ之ヲ他ノ必要
ナル品種ニ換算シ其ノ數額ヲ登記ノ上之ヲ告知スル
コトヲ得ル規定ニシテ此ノ場合互ニ換算セル品種ト
數額ヲ適宜ノ様式ニ依リ首席審判官及軍需局長ニ通
知スルモノトス

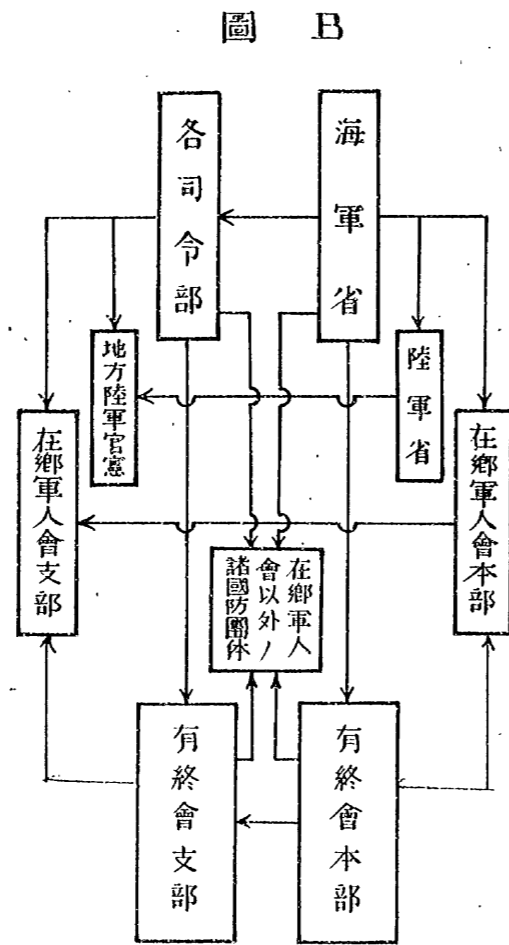
第九號解説

甲所屬長官ハ自己保有ノ燃料及行動用消耗品乙所
屬長官ニ分割スルニ當リ燃料經理規程第十條ニ依ル
大臣ノ認許ヲ要セズ

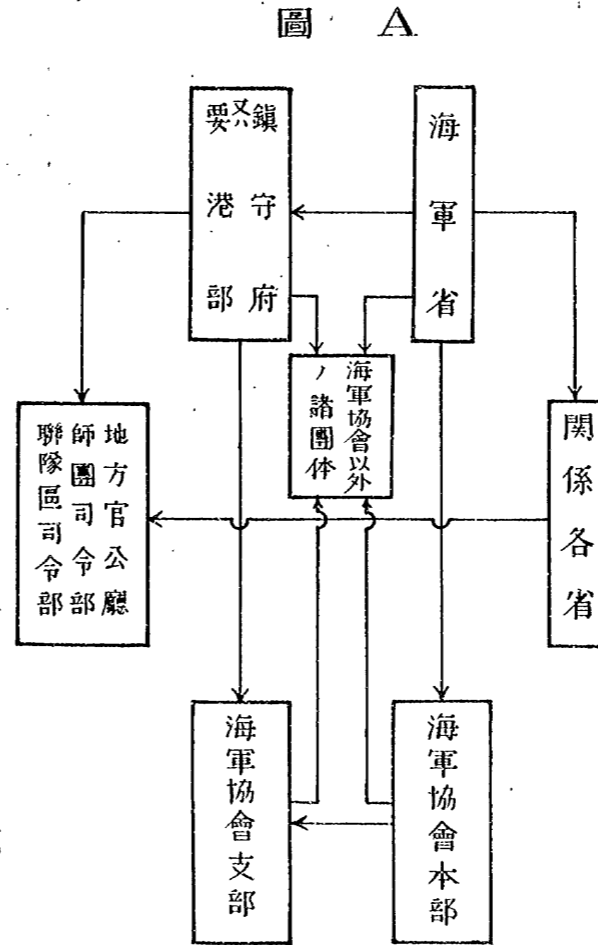
海軍公報（部内限）第千五百三十七號 昭和八年五月二十四日

二三七

(口) 指導聯絡ノ體系



(口) 指導聯絡ノ體系



(昭和八年五月二十四日公報(部内限)別圖)

海軍公報(部内限)號外

昭和八年五月二十四日(水)
海軍大臣官房

○ 通 牒

軍需機密燃第七二號

昭和八年四月一日

關係各廳長殿

燃料單價ノ件通牒

海軍省軍需局長

燃料經理規程第二十一條ニ依ル昭和八年度燃料單價ヲ左記ノ通定ム
記

品 種	簡 所	品 種	簡 所
海軍煉炭	軍需部	海軍煉炭	軍需部
第一種煉炭	霞ヶ浦	第一種煉炭	霞ヶ浦
第二種煉炭	大湊	第二種煉炭	大湊
第一種地炭	巴	第一種地炭	巴
第二種地炭	吳	第二種地炭	吳
第一種塊炭	舞鶴	第一種塊炭	舞鶴
第二種塊炭	德山	第二種塊炭	德山
	佐世保		佐世保
	馬公		馬公
	鎮海		鎮海

海軍公報(部内限)號外

0307

第三種地炭	一三〇六〇	一三〇六〇	一四〇四〇	三〇四一〇	一一、三五〇	一二、六〇〇	一一、〇九〇	一〇、六七〇	一三、八五〇	一一、九〇〇
重油	三五、一七〇	—	三五、五四〇	—	三四、八四〇	三四、九四〇	三四、二一〇	三四、八四〇	三五、九一〇	三四、八四〇
航空二號揮發油	〇、三四一	〇、三三九	〇、三四四	〇、三〇〇	〇、三三八	〇、三四四	〇、三三二	〇、三三三	〇、三八一	〇、三五六
航空三號揮發油	〇、三〇三	〇、三〇三	〇、三〇七	〇、三七〇	〇、一九一	〇、一九六	〇、一八五	〇、一九三	〇、二三五	〇、二九七
航空四號揮發油	〇、三五	〇、三五八	—	—	〇、二八七	〇、二七三	〇、二七八	〇、二八一	—	—
ペンゾール	〇、三四	〇、三四〇	—	—	〇、三三三	〇、三三三	〇、三三一	〇、三三一	—	〇、三四三
普通揮發油	〇、一三七	〇、一三七	〇、一四三	〇、三三三	〇、一三六	〇、一三一	〇、一三〇	〇、一三八	〇、一七〇	〇、一三三
二號石油	〇、一七	〇、一七	〇、一三	〇、一八五	〇、一〇五	〇、一一一	〇、一〇〇	〇、一〇九	〇、一五〇	〇、一一〇
輕油	〇、一〇六	〇、一〇六	〇、一一一	〇、一七五	〇、〇九五	〇、一〇〇	〇、〇九〇	〇、〇九七	〇、一〇九	〇、一〇〇

備考

- 一、大島軍需支部及各海軍燃料貯藏場ニ於テ保管スル燃料ノ單價ハ所屬軍需部、軍需支部又ハ要港部ノ單價ニ據ル
- 二、本年度ニ於ケル燃料繰替供給單價ハ本表ノ單價ニ據ル
- 三、繰替供給ノ際運搬船ヨリ直接供給シタル場合ニハ陸揚費相當額ヲ控除スルモノトス
- 四、金額ハ各種石炭及重油ハ壹匁、其他ハ壹立ノ單價ヲ示ス

0308

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 通 牒

昭和八年五月二十四日(水)
海軍大臣官房

軍需機密燃第七二號ノ二

昭和八年四月一日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料原料單價ノ件通牒

燃料經理規程第二十一條ニヨル昭和八年度燃料原料單價ヲ左記ノ通定ム

記

原		區	記	
煉粉炭	粉	別	事	
煉粉炭	炭	品	種	
煉粉炭	粉	種	小	
炭	炭	別	別	
三〇〇〇	二五〇〇	一〇六〇〇	一四七〇〇	價
各軍需部、軍需支部、要港部等ノ在庫品		德山軍需支部在庫品		

海軍公報 (部内限) 號外

1058 0509

備考 金額ハ各一吨ノ單價ヲ示ス	料		
	油	「ピツチ」	
	泥	石油「ピツチ」	「コールドパイピツチ」
		破 碎 煉 炭	
	三〇〇〇	一三五〇〇	一八五〇〇
	各軍需部、軍需支部、要港部等ノ在庫品	徳山軍需支部在庫品	徳山軍需支部在庫品 (工業用煉炭ヲ含ム)

1059 0310

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百三十八號

海軍大臣官房

昭和八年五月二十五日(木)

○ 辭 令

海軍主計少將 村上 春一

燃料政策調査會委員ヲ命ス

海軍工作概會計制度調査委員會委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

○昭和八年特別大演習部隊編成中左ノ通被仰付

第四艦隊司令部附 海軍中佐 入船 直三郎

長門分隊長 海軍大尉 藤田 正路

海軍機關少佐 篠崎 磯次

第二航空隊整備長兼分隊長

同 宮川 義平

第一航空隊整備長兼分隊長

同 東 嶋 嘉一

第一航空隊分隊長

海軍機關大尉 三田 好美

第二航空隊附

海軍機關中尉 村松 時夫

第四艦隊司令部附

同 佐藤 勝男

第一航空隊附

同

第二航空隊附(以上 海軍省)

同 足立 定男

海軍軍令部出仕兼參謀

海軍少佐 男爵 富岡 定俊

第一班第一課勤務ヲ命ス

海軍少佐 朝倉 豊次

(各通)

免兼第一班第一課勤務(以上 海軍軍令部)

同 志波 國彬

○ 雜 款

○郵便物發送先

軍艦羽黒宛

五月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保

其ノ後ハ 赤軍第五戰隊司令部ニ同シ

特務艦神威宛

自 今 旅 順

○訂正

○ 齊

海軍公報(部内限) 第千五百三十八號

昭和八年五月二十五日

二三九

1060

0311

海軍公報（部内限）第千五百三十八號 昭和八年五月二十五日

二四〇

三月一日附録在外海軍武官宿所表中海軍大佐戸荊隆始
宛電報宛名略語 [Kaigun 106 Paris] へ [Kaigun Paris]
ニ訂正ス

1061 0312

(部 内 限)

海軍公報

(部内限) 第千五百三十九號

海軍大臣官房

昭和八年五月二十六日(金)

○ 令 達

官房第二四〇七號

海軍工務規則第六十七條及同條ヲ準用スル諸規定ニ依
リ本年六月支給スベキ定期賞與ハ六月一日現在員ニ就
キ左ノ標準ニ依リ之ヲ實施スベシ

海軍燃料廠採炭部、平壤鑛業部ノ鑛夫ニ對シテハ六月
一日現在員ニ就キ同様ノ標準ニ依リ賞與ヲ支給スルコ
トヲ得

昭和六年官房第一八三八號ハ之ヲ廢止ス

昭和八年五月二十六日

海軍大臣

在職一年以上勤績者

賃錢 十日分以内

同 十箇月 同

同 八日分以内

同 八箇月 同

同 六日分以内

同 六箇月 同

同 四日分以内

同 三箇月 同

同 二日分以内

海軍公報(部内限) 第千五百三十九號

昭和八年五月二十六日

二四一

同一箇月 同

同 一日分以内

官房第二一五號ノ四

雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス

昭和八年五月二十六日

海軍大臣

船種	公稱番號	新所屬	舊所屬	定數別	記事
司令官艇 (十七米)	第五七號	舞鶴要 港部	舞鶴要 港部	臨時 附屬	
同 (十五米)	第八六號	務部	務部	定數	
官房第二一五號ノ五					
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス					
昭和八年五月二十六日					
海軍大臣					
船種	公稱番號	新所屬	舊所屬	定數別	記事

曳船兼交通船 （百五十噸） 第八三號	同 （同） 第八三號	同 （六十噸） 第八三號	内火艇 （十五米） 第八三號	司令艇 （十二米） 第八四〇號	傳馬船 （十米） （發動機附） 第八四四號	同 （同） 第八四五號	橋船 （長十二米幅四米） 第八四九號	同 （同） 第八五〇號	水船 （百噸級） 第八五四號	
旅順海軍無線電信所										
要港部										
定數										
無線電信遠距離受信檢定成績調査資料										
ノ件通知										
昭和八年五月第十四回無線電信遠距離受信檢定信文送 信要目左記ノ通										
記										
信文	橫須賀海軍無線電信所	送信	速度（分間）	信文修正						
番號	送信日時	速度（分間）	信文修正							
一	五月十一日 午後一時三十分	七六								
二	同 一時六分	八二								
三	同 一時九分	七九								
四	同 一時十二分	七九								
五	同 一時十五分	七九								
六	同 一時十九分	七九								
七	同 一時二十二分	七九								
八	同 一時二十四分	八〇								
九	同 一時二十七分	八二								

○通牒

教育第五九號ノ一二

昭和八年五月二十五日

海軍省教育局

關係各廳御中

1063 0314

一〇	同	一時三十分	七七		
一一	同	一時三十三分	七九		
一二	同	一時三十七分	八一		
一三	同	一時四十分	八〇	本文三行十字目「A」ヲ「D」ニ、同八行四字目「A」ヲ「U」下送信	
一四	同	一時四十三分	八一		
一五	同	一時四十六分	八一	本文八行目「？」脱字	
一六	同	一時四十九分	八一		
備	一、天	候晴			
考	一、送信状態	良好			
○ 雜 款					
○郵便物發送先 赤軍第五戰隊司令部、軍艦妙高宛 五月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 六月 六 日迄ニ 同 佐 伯 軍艦那智宛 五月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳					
○正誤 六月 六 日迄ニ 同 佐 伯 軍艦足柄宛 五月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保 六月 六 日迄ニ 同 佐 伯 ○正誤 本月十日辭令欄中辭令日附「五月十月」ハ「五月十日」ノ、昨二十五日同欄辭令文中「工作廠」ハ「工作應」ノ孰モ誤					

海軍公報(部内限) 第千五百三十九號 昭和八年五月二十六日

二四三

1064 ~~0315~~

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百四十號

昭和八年五月二十九日(月)

海軍大臣官房

○ 通 牒

官房第二四三二號

昭和八年五月二十七日

海軍省 副官

各 廳 長 殿

國防献金ニ關スル件通知

官房機密第八六二號ノニニ依ル部内有志ノ國防献金ハ
本二十七日海軍次官ヨリ海軍大臣ニ其ノ目錄(七萬百
六拾圓四拾錢) 呈上ノ手續ヲ了セラレ候

教育第五九號ノ一三

昭和八年五月二十五日

海軍省 教育局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料
ノ件通知

昭和八年五月第十五回無線電信遠距離受信檢定信文送

信要目左記ノ通

記

番號	送 信 日 時	速 度 (分 間)	信 文 修 正
一	五月十八日 午後二時 十分	九五	
二	二時 十三分	九四	
三	二時 十六分	九五	
四	二時 十九分	九五	
五	二時 二十二分	九四	
六	二時 二十五分	九五	
七	二時 二十八分	九五	
八	二時 三十一分	九五	

海軍公報 (部内限) 第千五百四十號

昭和八年五月二十九日

二四五

1065

0316

九同	二時三十四分	九五
一〇同	二時三十七分	九五
一一同	二時四十分	九四
一二同	二時四十三分	九四
一三同	二時四十六分	九五
一四同	二時四十九分	九五
一五同	二時五十二分	九五
一六同	二時五十五分	九五

經物第五四一號

昭和八年五月二十三日

海軍省經理局

關係各廳御中

國有財產事務取扱ニ關スル件通知

今般各省ニ於ケル國有財產事務取扱方一定セラレ候ニ付テハ爾今左記ニ基キ處理相成度

記

一、國有財產増減報告書ノ備考欄ニ記入スベキ増減事

由ノ用語統一ニ關スル件

國有財產増減報告書ニ記載スベキ増減ノ事由ハ之ヲ備考欄ニ簡明ニ記入スルコトナリ居レガ餘リニ簡單ニ過ギテ其ノ意味ノ不明瞭ナルモノ若ハ同一事由ニ對シ各省區々ノ用語ヲ用ヒタルモノ等アリテ取扱上不便尠カラザルヲ以テ昭和七年度國有財產増減報告書ヨリ別表ノ通用語ヲ統一ノコト別表ハ必要ノ向ヘ配付ス

二、各省ニ於テ賣拂、讓與又ハ交換ヲ爲シタル國有財產ノ臺帳整理方ニ關スル件

各省所管公用財產ニシテ大藏大臣ト協定ノ上大藏大臣ニ引繼ガズシテ賣拂、讓與又ハ交換ヲ爲シタルモノニ付テハ昭和七年度分ヨリハ必ズ一旦雜種財產トシテ臺帳ニ登錄シタル上之ガ拂出ヲ爲スコト

三、土地及立木竹ノ實測ニ因ル増減ノ臺帳記載方ニ關スル件

本件ニ關シテハ從來數量ノミヲ掲ゲ價格ハ價格改定ノ時期ニ至ルマデ之ガ訂正ヲ爲サザルノ取扱例ナリシガ昭和七年度ヨリハ増減數量ニ對スル價格モ數量ト共ニ之ヲ計上スルコト

四、増減報告書中二以上ノ増減事由ヲ同一備考欄ニ於テ合記シタル場合ニ於テハ之ガ内譯書添付ノ件増減事由二以上ヲ同一備考欄ニ合記シタル場合ニシテ右事由中、管理換、交換、引繼、引受ニ係ルモノハ數量、價格及事由ヲ明記シタル内譯書ヲ適宜作成シ増減報告書ト同時ニ總括簿ヲ備フル部局長ニ提出ノコト

五、國有財産増減事由別調ニ關スル件
本調ハ國有財産増減總計算書並ニ同報告書ニ對スル議會參考資料ナルヲ以テ昭和七年度分以降ニ於テハ必ズ其ノ増減報告書提出ノ年七月末日迄ニ總括簿ヲ備フル部局長ニ提出ノコト

六、メイトル法實施ニ關スル件
メイトル法實施ノ猶豫期間ハ昭和九年六月三十日ヲ以テ滿了ニ付昭和九年度國有財産増減報告書ハメイトル法ニ依リ之ヲ作製スルノ必要アリ仍テ大藏省ニ於テ國有財産法施行規則ヲ改正シ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ實施ノ豫定ニ付夫々準備ノコト
國有財産増減事由別調
一般會計(又ハ特別會計) 管理廳

海軍公報(部内限) 第千五百四十號

昭和八年五月二十九日

二四七

計	増										減									
	土	地	購	入	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
計	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
計	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

備考
一、本表ハ各會計別各財産種類別ニ作製スルコト

○ 辭 令
海軍軍令部參謀海軍大佐 戶塚 道太郎
第二班第四課長兼務ヲ免ス

1067 0318

海軍軍令部參謀海軍大佐 中村 俊久
第二班第四課長ヲ命ス(以上 海軍軍令部)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

赤軍第八戰隊司令部、軍艦那珂、木曾、川内宛

自 今

第四艦隊司令部ニ同シ

軍艦北上宛

自 今

第四艦隊司令部ニ同シ

赤軍第四水雷戰隊司令部、軍艦鬼怒、第十九驅逐隊
(綾波、敷波、浦波)、第二十驅逐隊(磯波、吹雪、
薄雲)宛

自 今

第四艦隊司令部ニ同シ

第六驅逐隊(電、響、雷)宛

自 今

第四水雷戰隊司令部ニ同シ

驅逐艦漣宛

自 今

第四水雷戰隊司令部ニ同シ

赤軍第二航空戰隊司令部、軍艦赤城、龍驤、第十五

驅逐隊(藤、鳶、萩、薄)宛

自 今

第四水雷戰隊司令部ニ同シ

六月二十一日迄ニ
其ノ後ハ

第四艦隊司令部ニ同シ

第五驅逐隊(松風、春風、旗風、朝風)宛
自 今

特務艦神威宛

六月二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保
同 六 日迄ニ 同 佐 伯

(部 内 限)

海軍公報

(部内限) 第千五百四十一號

昭和八年五月三十日(火)

海軍大臣官房

○ 通 牒

教育第五九號ノ一四

昭和八年五月二十九日

海軍省 教育局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料

ノ件通知

昭和八年五月第十六回無線電信遠距離受信檢定信文送信要目左記ノ通記

番號	送信日	時	速度(一分間)	信文	修正
一	五月二十五日	午後一時零分	八一	本文二語二字目	G
二	同	一時四分	七八	ヲQ下送信ス	
三	同	一時七分	七九	本文九語二字目	消信
四	同	一時十分	七五		
五	同	一時十三分	八〇	本文六語日本正	
六	同	一時十七分	七七	本文十語三字目	消信
七	同	一時二十二分	七七	本文八語七字目	N
八	同	一時二十六分	七九	ヲU下送信ス	
九	同	一時二十九分	七八		
一〇	同	一時三十二分	八〇		
一一	同	一時三十五分	八〇		
一二	同	一時三十八分	八〇		
一三	同	一時四十二分	八〇		
一四	同	一時四十六分	八〇		

海軍公報(部内限) 第千五百四十一號 昭和八年五月三十日

二四九

1069 0320

一五同	一時五十分	八〇
一六同	一時五十三分	八〇
備考	一、天候晴 一、送信状態良好	
○ 辭 令		
南京へ出張ヲ命ス <small>(五月三十日)</small> 海軍省 海軍警査 江口源太郎		

1070 0321

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千五百四十二號

海軍大臣官房

昭和八年五月三十一日(水)

○通牒

官房第二四九四號

昭和八年五月三十一日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國第三十一號(佐世保號)飛行機ノ
要目發表及寫真撮影範圍等ニ關スル件

通牒

首題ノ件ニ關シテハ報國第二十號(富國號)ノ場合ニ
準ズル義ト御了知相成度

(三月十日公報(部内限)所載官房第一〇二二號參照)

○辭令

(各通) 海軍少將 小野 彌一
海軍中佐 近藤 爲次郎

○雜款

黃海北濱、遼東海灣及松花江方面へ出張ヲ命ス(五、三十日)
海軍省)

○郵便物發送先

第二艦隊司令部、軍艦島海、愛宕、高雄、摩耶宛	六月 十 日迄ニ到達見込ノモノハ	横 須 賀
同 二十三日迄ニ 同		鎮 海
同 二十八日迄ニ 同		佐 世 保
七月 七 日迄ニ 同		馬 公
同 十二日迄ニ 同		高 雄
第六戰隊司令部、軍艦青葉、衣笠、加古、第二水雷		
戰隊司令部、軍艦神通、第七驅逐隊(潮、臘、曙)、		
第八驅逐隊(天霧、朝霧、夕霧)、第十一驅逐隊(深		
雪、初雪、白雪)、第十二驅逐隊(白雲、叢雲、東雲)、		
第二潜水戰隊司令部、軍艦球磨、第十八潜水隊(伊		
五三、伊五四、伊五五)、第十九潜水隊(伊五六、伊		
五七、伊五八)、特務艦能登呂、鳴戸宛		

海軍公報(部内限) 第千五百四十二號

昭和八年五月三十一日

二五一

1071 0322

海軍公報(部内限) 第千五百四十二號 昭和八年五月三十一日

二五二

六月二十三日以後到達見込ノモノハ

第二艦隊司令部ニ同ジ

左記ニ依リ第二艦隊假設無線電信所ヲ設置ス同期間

電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ
自七月九日 至同十三日 高雄

1072

~~0323~~